

# 個別の学習スペース



プラス  
情報



個別にスケジュールを提示したり、自立課題ボックスを設置したりすることで、個別のスペースに行くと、次に取りかかること等の必要な情報が子ども自身で確認でき、安心して学習に取り組むことができる。

- 視覚から入る刺激（情報）を減らすことで、子どもが集中して学習に取り組みやすい環境を作ることができる。その一つの方法として、壁面と仕切りを利用して個別の学習スペースを作っている。

